

WITH ~認め合おう、知り合おう、医療と介護~



発刊日：平成31年2月

発行元：認知症疾患医療センター&認知症相談支援センター
協同で発行しています！

今年の冬は暖かかったり、寒かったり。体調には十分気をつけてください。
今号では「認知症サポーターの普及・啓発」の1事例をご紹介します。

●●八事福社会館の取組み●●

八事福社会館では、ボランティアさんが「ロバ隊長のマスケット」作りに励んでいます。

開館日の10時から15時までの好きな時間に参加でき、多い時は1日8名の参加があります。

取材日は3名の参加があり、平均年齢は87歳でした。生きがい支援スタッフの佐々木さんにお話を伺いました。

*ロバ隊長のマスケットを作ろうとしたきっかけは何ですか？

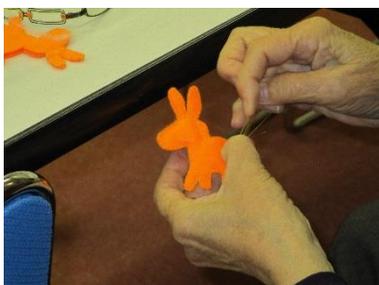
八事福社会館の認知症予防教室は応募者が多く、抽選に外れる人が多くみえます。「せっかく応募してくれたのに申し訳ない、何かできないかな」という思いと、「家に引きこもりがちな人に福社会館まで来てもらうにはどうしたらよいか」を考えました。そんな時、ヒントになったのが福井市のボランティアさんからもらった「ロバ隊長のマスケット」。とてもかわいかったので福社会館を利用している方々に声をかけ平成30年5月からマスケット作りがスタートしました。

*作品はどのように活用しているのですか？

作品は昭和区西部、東部いきいき支援センターと連携をとり、認知症サポーター養成講座修了者に進呈しています。これまでに約200個のマスケットが巣立っていきました。いきいき支援センターからは、「かわいい！と皆さん喜んでみえます。」との声をいただきました。

*ボランティアさんの声

「出来上がるとかわいくて達成感がある」、「ポーっとしているのはイヤ。ここに来ると満ち足りた気持ちになれる」「やらないと寂しい」「マスケットを受け取って喜んでいところを見たい」



ロバ隊長とは
認知症サポーターを養成し認知症になっても
安心して暮らせるまちを目指す
「認知症サポーターキャラバン」のマスケットです



問合せ先及び認知症に関する相談窓口

なごや認知症あんしんナビ

検索

名古屋市の認知症の
情報はウェブサイト
をご覧ください

認知症コールセンター 認知症の症状や介護等に関する様々な相談

◆名古屋市認知症コールセンター ☎052-919-6633

認知症疾患医療センター 専門医療、鑑別診断と治療、急性期対応等に関する相談

◆名鉄病院 ☎052-551-2802 ◆まつかげシニアホスピタル ☎052-352-4165

◆もりやま総合心療病院 ☎052-795-3560

認知症コラム No.13 「うつ病と認知症について」

もりやま総合心療病院 院長 岩井 清

高齢者が罹患しやすい精神疾患として、うつ病と認知症が挙げられます。教科書的には鑑別可能とされますが、うつ病の仮性認知症では、一見認知症の症状を呈し、診断が難しい場合があります。レビー小体型認知症では、前駆症状としてうつ状態を呈する例や、軽度認知障害や認知症の経過にうつ状態が合併することもあります。

事例を一つ紹介します。Aさんは夫が亡くなり家業を人に譲りました。その後アルツハイマー型認知症を患い、老人ホームに入所しましたが、息子の海外赴任をきっかけに「家業を途絶えさせた」と罪業的となり、自殺念慮を訴え入院となりました。治療として、悩みや葛藤に対し支持的態度で接し、不安感や自殺念慮も生じているため、抗うつ剤も加えました。その後罪業感は消退し、レクリエーションにも参加するなど活動的となり、前の施設に戻られました。

高齢者のうつ病に対し、環境調整や社会的支援が有効な場合があります。親密に接する周囲の方々が、高齢者の精神的不調や身体症状の変化に気付かれたら、かかりつけ医や専門医へ相談いただけたら幸いと思います。

名古屋市認知症相談支援センターが主催した「本人ミーティング」(H30.11.12 名古屋市立西部医療センター、70代女性2名参加)の声を一部紹介します。本人ミーティングとは、本人だからこそその気づきや意見を本人同士で語り合い、それらを施策に反映し、また地域に伝えていくための集まりです。

- ・「失敗が増えてきた。心配になって“もの忘れ外来”を予約しようと思った。でも、診てもらおう覚悟ができるまでに1年くらいかかりました。」
- ・「不安な気持ちはまだ誰にも言えない。だから、亡夫の仏壇に話しかけています。」
- ・「約束事はスマホのスケジュール帳を活用している。でも、見るのを忘れちゃう(笑)だから、やっぱりカレンダーが一番間違いない。」

～認知症関係の行事予定～詳細、申込方法等は問合先までお問合せください



◆2月6日(木) 14:00～16:00

港区 「認知症サポーター養成講座」

認知症サポーター養成講座のほかに認知症や介護予防などに関する講座を開催。

どなたでもご参加できます。参加費無料

場所：イオンモール名古屋茶屋 ※申込不要

問合先 港区西部いきいき支援センター

☎ 052-381-3260

◆2月23日(土) 13:30～16:00

熱田区 熱田区認知症講演会

「認知症とともに生きる！～一足先に認知症になった私からあなたへ～」

テーマ①講師：藤田和子さん

(日本認知症本人ワーキンググループ代表理事)

テーマ②講師：神谷佳代子さん(熱田福祉会館音楽講師)

音楽で頭の体操～歌って笑ってみんな元気～

場所：熱田区役所等複合施設7階講堂 *定員：350名

申込：所定の用紙に記載のうえ、はがきかFAXで申込み

問合先(申込先) 熱田区いきいき支援センター

☎ 052-671-3195 FAX052-671-4019

◆3月1日(金) 13:30～16:30

守山区 守山区認知症普及啓発講座

「認知症になっても安心して住み続けられるまちへ」

竹田徳則教授(星城大学)による認知症の予防や地域支援に関する講演、「本人座談会～本人が語る私の認知症」の視聴、認知症カフェや認知症ケアパス案内など

場所：守山区休日急病診療所会議室 *定員：40名

対象：守山区在住の認知症に関心のある方

*認知症サポーターのスキルアップにも活用ください

問合先(申込先) 守山保健センター保健予防課

☎ 052-796-4625 FAX052-796-0040

原則電話申込。定員になり次第締切らせていただきます

認知症相談支援センターfacebookでは認知症イベント情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

<http://www.facebook.com/ninchishou.soudan>